

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	環境計画進行管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	1	5	14	1	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	55 環境改善活動の展開											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		飯田市環境基本条例 21しいだ環境プラン				
		事業期間	16	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	21しいだ環境プランに掲げた環境目標。	環境目標の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			8	8			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	21しいだ環境プランに掲げた環境目標を達成する。	環境レポート作成年度を基準とする環境目標の達成度(目標達成数/目標数)	18目標	2	最終目標	8	
			18実績	1	19目標	2	↑
			23目標	8	23実績		最終目標達成年度
		環境レポート作成年度を基準として前年度より改善の見られた目標数(改善目標数/目標数)	18目標	8	最終目標	8	
			18実績	4	19目標	8	↑
		23目標	8	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	環境行政を総合的に推進し、市民、事業者、行政が環境保全や創造を行う指針とするため作成した、21しいだ環境プランに基づく施策の推進と進行管理を、市民参加の環境市民会議と共に進めます。 また、環境施策の取り組み状況を年次報告書(環境レポート)として広く公表し、環境目標の達成度を確認し、事業推進を図る資料として活用を図ります。 法制度の改正や地域社会の変化や平成19年度スタートする第5次基本構想基本計画との整合性を図り、市民、事業者と協働して21しいだ環境プランを見直し、時代に即した環境基本計画として継続的な環境改善を図ります。	18年度の実績 市民、事業者、行政の協働による環境計画の推進及び実績把握。 環境レポートの作成及び公表。 21しいだ環境プランの見直し作業開始。 今までの環境レポートを元に現状の分析を外部機関に委託実施。 上村地区、南信濃地区の自然環境調査を実施。	環境市民会議の開催 環境レポートで把握した、環境に配慮して実施した事業数 自然環境調査地区数	0 276 2
	19年度計画	市民、事業者、行政の協働による環境計画の推進及び実績把握。 環境市民会議による取組の評価。 環境レポートの作成及び公表。 21しいだ環境プランの見直しを実施する。	環境市民会議の開催 環境レポートで把握する、環境に配慮して実施した事業数	20 280

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,280	2,180
	事業費計(A)	1,280	2,180
人件費	正規職員所要時間	18年度 950	19年度 1,840
	臨時職員等所要時間	320	320
	人件費計(B)	3,741	6,924
	トータルコストA+B	5,021	9,104

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	環境目標の達成が、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を形成につながります。	市民アンケート調査による生活環境の満足度(%)	現状値	60	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	67
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成5年に環境基本法が制定され、翌年に環境基本計画を策定しました。 地方においても、それぞれの自然的、社会的特性条件に応じた環境計画策定が求められる中、市民、事業者、行政が環境保全や創造を行う上での指針、総合的な計画として、「21 いいだ環境プラン」が策定されました。	環境を取り巻く状況は日々変化しており、それに対応する各種環境法令も制定されてきています。 また、環境保全に対する市民や事業者の意識も向上しています。 市役所でも、環境マネジメントシステムを策定し、全庁で環境保全活動を推進しています。 平成13年度に「21 いいだ環境プラン」を見直しをしてから5年が経過しました。また、平成19年度から第5次基本構想基本計画が実行されます。	環境市民会議や、住民アンケート等によっても、総合的な環境行政の推進と、市民や事業者の協働の必要性が重要視されています。 市議会でも、環境文化都市実現に向けて環境プランの推進を図る必要があるとの意見があります。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	「21 環境プラン」に基づいて事業実施を推進します。 平成22年まで計画している「21 飯田市環境プラン」は、前回の見直しから5年を経過した平成18年度に見直しを行う時期を迎えたが、第5次の基本構想、基本計画が平成19年度からスタートするのに合わせ、新しい基本構想、基本計画と連携した見直しを行います。 既存の「21 環境プラン」が、新しい基本構想、基本計画とリンクし、平成19年、度市民参加により見直しを行います。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	飯田市が取組んでいる環境政策を正しく評価する必要があります。 市民会議を開催し、その中で市民の声を聞き、環境プラン見直しに反映させていきます。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	